

平成20年度

感動を共有する保育・学習を目ざして
～幼稚園から小学校へのなめらかな接続を考える～

横須賀市立諏訪幼稚園
横須賀市立諏訪小学校
平成21年1月28日(水)

諏訪幼稚園の環境

創立55年（昭和28年に設立）

園長・教頭・養教が小学校と兼任。小学校と同じ建物内に併設。2年保育で各25名定員計50名の園児



温かい雰囲気を感じられる諏訪幼稚園玄関



手遊びをする園児たち

諏訪小学校の環境

創立106年・児童数322名・12クラス

学区（本町・大滝町・若松町・日の出町・緑ヶ丘・泊町など）



諏訪小学校校門からの風景



いつも季節の花が美しい玄関



運動場から見た諏訪小学校

周りの環境 学校周辺の高層住宅



横須賀市役所 本館



横須賀郵便局 本局



京急横須賀中央駅 付近



三笠公園



うみかぜ公園



諏訪幼稚園 教育目標

主体的な子どもの育成

(1) 元気で明るい子

(2) 思いやりがあって、よく遊べる子

(3) 自分の思ったことが、はっきり言える子

- ・開かれた幼稚園
- ・遊びを通しての学びの楽しさ
- ・環境領域の指導の研究(特に人的環境の重視)
感動を共有する教師と子ども・子どもと子ども・保護者・地域も
- ・人とのかかわりを大切にした交流
- ・豊かな体験を広げる園外保育

諏訪幼稚園

感動を共有する保育を目ざして

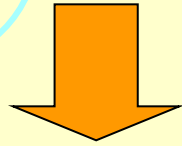
幼児にとって遊びは 生活そのものであり、
学びそのものである

遊びの中で

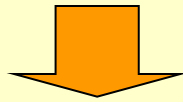
- ・喜びを感じ
- ・自分らしさを発揮し
- ・満足感を味わう

明日への意欲がわく

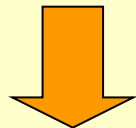
幼稚園生活の中で社会生活を営む



- ・ルールを身につけたり
- ・自分でやりとげる力をつけたり
- ・物事に積極的ににかかわる力を
身につけたりする



生きる力の基礎が育つ



主体的に活動する子ども

教師と子ども 子どもと子ども 保護者 地域の方

一緒に喜び、認め、感動を共有する

自信をもち、いろいろな事に自発的に取り組み、生き生きと活動する

生きる力を身につける

高齢者・未就園児・児童・中学生・との交流を通して

横須賀市立 諏訪小学校

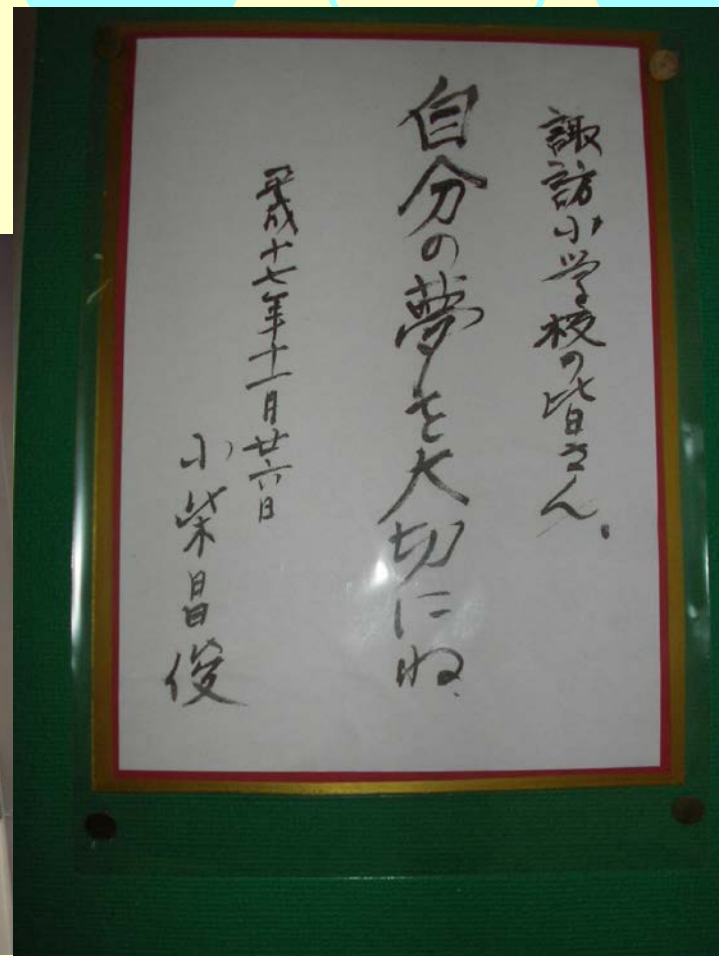
教育目標

夢を大切に「心豊かにみずから学ぶ子」

- (1) 深く考え、工夫する子
- (2) 思いやりのある、やさしい子
- (3) 根気よく、たくましい子
- (4) 生命を大切にする子

本校卒業生のノーベル賞物理学者 小柴昌俊先生が子どもたちに贈ったメッセージ「心に夢のタマゴを持とう」を本校教育目標に反映

自分の夢を大切に



「生きる力」の育成

- ・ 確かな学力
- ・ 豊かな人間性
- ・ 健康・体力作り



小柴昌俊博士へ花束をさし上げ



校歌斉唱



ノーベル賞のメダルと賞状



サインをしてくださる小柴昌俊博士



夢

の

たま

ご

を

も

と

う



研究経過

- 長年にわたる幼小交流活動実践の積み重ね
- 平成18年度・19年度，諏訪幼稚園が神奈川県幼稚園実践推進園の指定を受け、校種間の連携についての研究を開始。諏訪小学校も研究を開始。

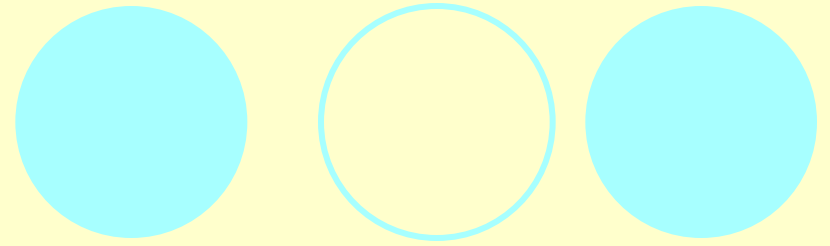
研究テーマ

感動を共有する保育・学習を目ざして
～幼稚園と小学校の多様な交流活動の実践～

幼小合同研修会開催

1. 幼小連携講演会 2006・9・15
浅川陽子先生（お茶の水女子大学講師）
2. 連携・一貫教育に向けた教師意識の再構築 2007・2・14
小林宏己先生（東京学芸大学助教授）

本年度研究テーマ



● 平成20年度研究テーマ

感動を共有する保育・学習を旨として

～幼稚園から小学校へのなめらかな接続を考える～

幼小合同研修会より

★「ホープロblem」

- ・席について話が聞けない子
- ・集団行動ができない子
- ・総じて集中力と協調性に欠ける子

★「中一ギャップ」

- ・小学校との違いに不安や戸惑い・不適應
- ・いじめや不登校の急増

幼・小の教育内容

諏訪小学校

「生きる力」の育成

- ・確かな学力
- ・豊かな人間性
- ・健康・体力作り

教科・領域等の学習

国語・社会・算数・理科
生活・音楽・図工・体育
家庭・道徳・総合的な学習
特別活動

諏訪幼稚園

「生きる力」の基礎づくり

- ・学びの芽を育てる
- ・豊かな心情の芽生えを育てる
- ・健全な心情の基礎を育てる

遊びや生活を中心とする就 学前教育

5領域

健康・人間関係・環境・言葉
・表現

幼小連携は

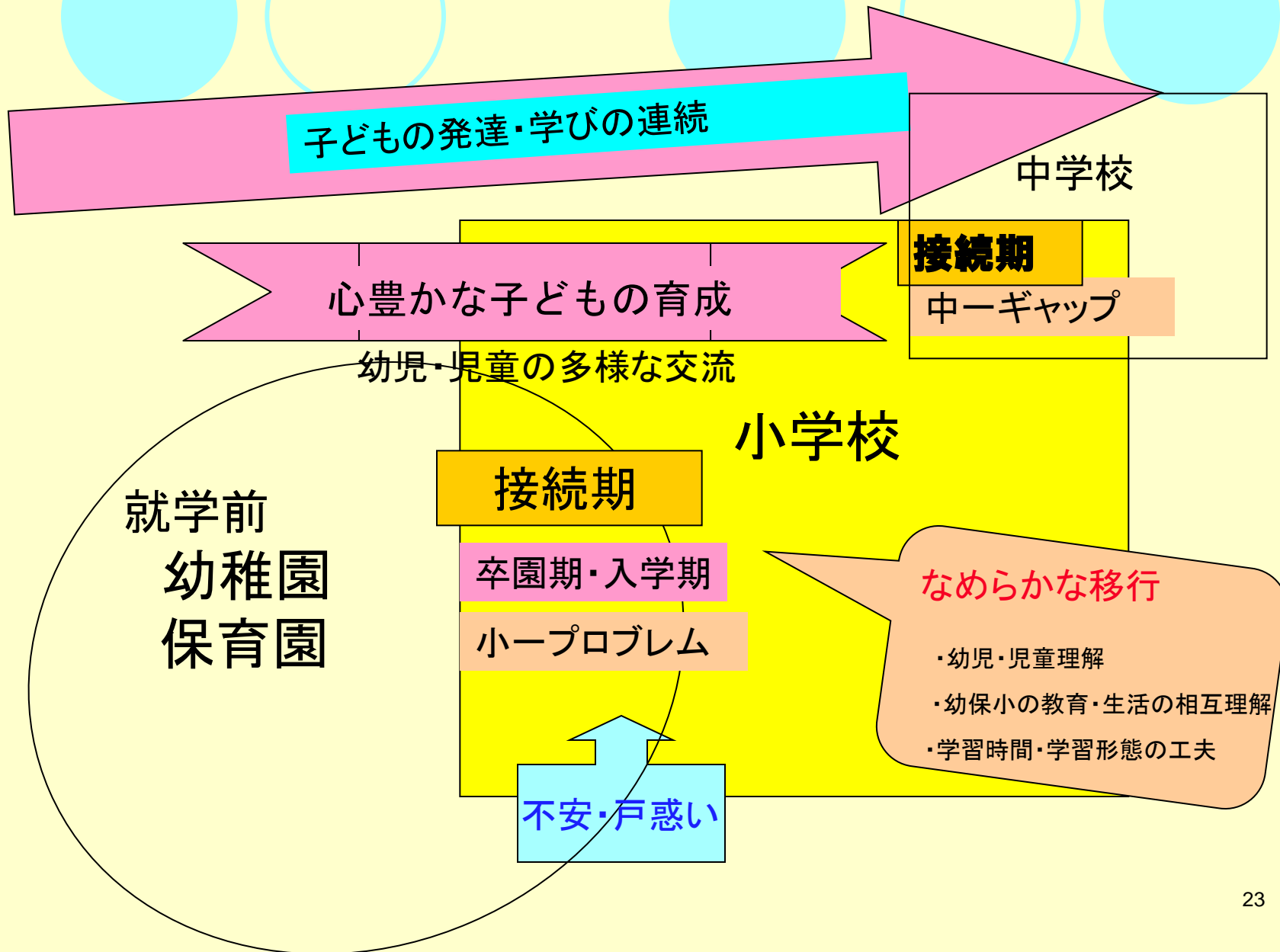
1. 交流

- ・ 子ども同士の交流
(異年齢のかかわりの良さ)
- ・ 教師の交流
(幼小の教師自身も交流し、互いの教育内容の理解、子ども理解、情報交換)

2. なめらかな接続 「接続期をもうける」

- ・ 幼稚園
《卒園期5歳児1月～3月》
※小学校教育を意識する。
 - ・ 協同的な学び(幼児の友達と共通した目標にむけて協力する活動)
 - ・ 教科学習につながる学び
- ・ 小学校
《入学期1年入学～6月》
※幼稚園教育からのつながりを意識する。
 - ・ 生活科を中心に子どもの興味・関心・生活を大切にする学習※環境作り

幼小中校種図(接続図) 横須賀市立諏訪小学校・幼稚園



研究目的

1. 小学校と幼稚園の教諭がそれぞれの教育内容・指導方法などについて相互に理解し合う
2. 就学前教育から小学校教育へのなめらかな移行をはかるための方法を確立する
3. 異年齢交流活動を充実させることにより児童と幼児の豊かな心の育成をめざす

1. 学びや発達のつながりを考える取り組み

◎教師同士の相互理解を図る

- ・交流前後の幼小合同の話し合い
- ・幼小合同研修会
- ・幼小相互の授業参観

◎低学年担任と幼稚園教諭の話し合いを行う

◎接続期(卒園期・入学期)を配慮した取り組み

◎幼小合同で「目ざす子ども」の話し合い

◎幼小連携の担当・組織化

2. 接続期の取り組み (なめらかな接続のために)

◎卒園期(5歳児1月～3月)

- 友だちとのかかわりを深めるため、協同的学びを大事にする。
- 身の回りの自立をめざす。
→小学校への期待感をもたせるとりくみ

◎入学期(1年生入学～6月)

- (前半)幼稚園・保育園から小学校にかわり、安心して生活をおくれるようにする。
→戸惑いを少なくするとりくみ
- (後半)子どもが意欲的に楽しく学習に向かえるようにする。
→小学校の生活や学習活動を意識するとりくみ

3. 交流の場をつくる(幼小異年齢のかかわり)取り組み

- ・ **自然な交流** 休み時間を利用した有志の自由な交流
- ・ **行事での交流** 運動会・すわにこ祭り・避難訓練・子どもフェスティバル
- ・ **単元が発展した交流** 生活・総合的な学習
国語・理科・図工・音楽・体育
- ・ **委員会活動での交流** 図書委員会・運動委員会
音楽委員会

※年間カリキュラムに組み、**計画的継続的**に交流する

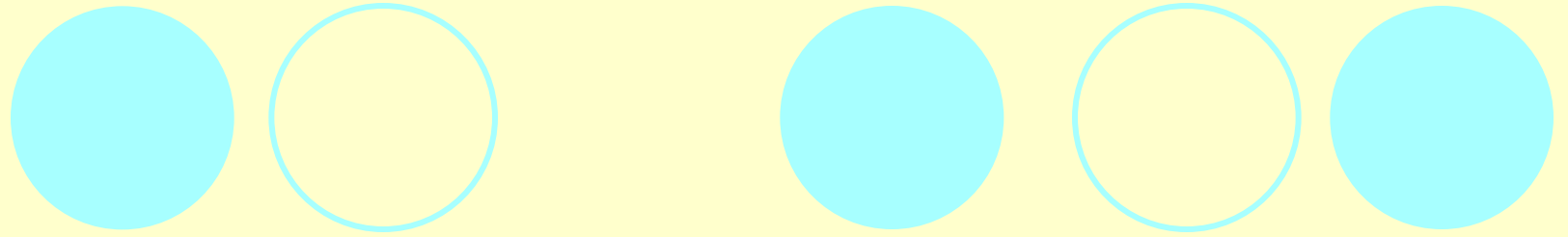
※特に生活科カリキュラムの見直しと幼小のかかわりを位置づける

4. 子どもの育ちを記録する取り組み

- 交流記録(写真・VTR・メモ)
- 合同指導案(学年・教科・領域・ねらい・活動の流れ・指導・支援・配慮事項・考察)
- 活動の見取り(児童の育ち・交流の良さ)

5. 小学校と幼稚園の教師間の交流の流れ

- **組織作り**・・・幼小担当者(幼稚園とのパイプ役)・各学年
- **交流計画の提案**(年度初めに担当者が職員会議等で)
- **幼小交流年間計画作成**
(各学年・クラス・各委員会に交流可能な月・教科・領域 などの希望を聞く)
- **交流実施前後に幼稚園と打ち合わせ**(各学年・クラス)
(特に生活科関係の低学年1・2年生担任)
- **幼小合同指導案作成**(幼小互いのねらいの把握・支援の方法・配慮事項)
- 活動後にふり返り・考察
- 年度末に振り返り



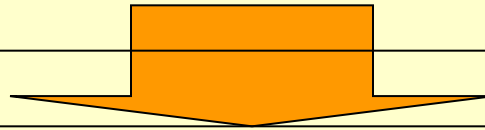
接続期の学び・学習

卒園期の取り組み（5歳児1月～3月）①

4月から小学生になることを意識した幼稚園教育

小学生との交流のねらい

《期待をふくらませ、不安や戸惑いをへらす取り組み》



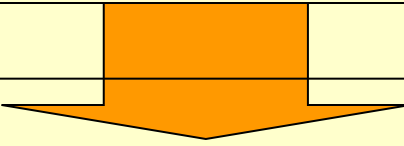
- ・1年生との交流（1年生の姿に期待を持つ）
- ・生活科・国語・算数などの授業参観で小学校の場を経験する
- ・5年生との交流（1年生になってお世話してくれる6年生との交流）
- ・学校給食を体験する（1年生と一緒に食べる）

卒園期の取り組み(5歳児1月～3月)②

- ・4月から小学生になることを意識した幼稚園教育
保育内容の工夫

《自ら進んで行う活動をめざす取り組み》

《協同的学び(共通の目的に向かって協力する取り組み)》

- 
- 基本的な生活習慣を身につける
 - 困ったことやしたいことが言える
 - 絵本の読み聞かせや紙芝居を毎日の保育の中に取り入れ、集中して聞く態度を育てる。
 - 人の話を最後まで聞けるようにする。
 - 時に応じてあいさつができるように指導する。
 - 遊びの中で文字や数字に対する興味付けをする。
 - 自ら進んで行えるような取り組み(誕生日会のリーダー活動)をする

入学期(入学～6月)の取り組み

入学期前半(入学～GW)

《不安や戸惑いを少なくする取り組み》

- ・授業時間の弾力化
- ・学習形態の工夫
- ・友達と仲良しになる集団遊び
- ・生活科カリキュラムの見直し(学校環境へ関わる活動「学校たんけん」の大単元化、合科など)
- ・各教科と合科・関連した学習
- ・保護者との連携
(懇談会・学級通信・連絡帳・送り迎えなど)
- ・自然交流(休み時間などに自由に園にいける)

入学期後半(GW～6月)

《小学校の生活・学習に近づける取り組み》

1年生 入学期(図工) 学習の場の工夫



廊下に机を出し、教室にブルーシートをしいて土粘土でグループ製作

1年 図書ボランティア 教室中央に集まって

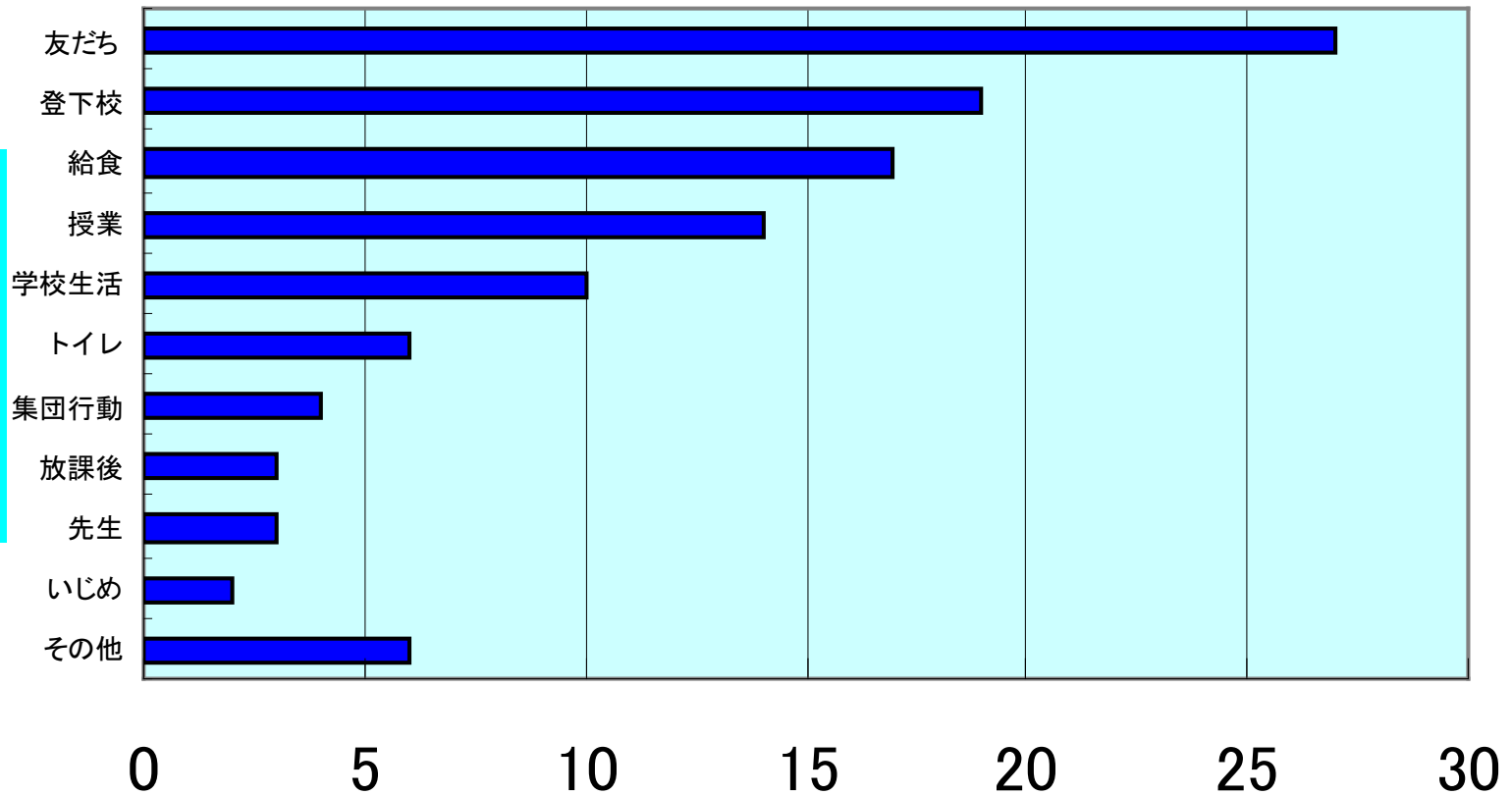


1年生の接続期の不安アンケート

● アンケート結果

小学校入学時の保護者・児童の不安

不安なこと



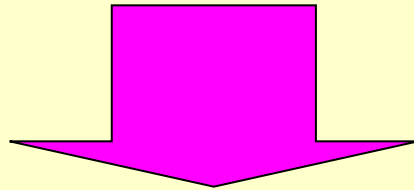
人数(人)

平成19年6月アンケート実施
自由記述をまとめたもの
1年生66人の保護者・複数回答

幼小連携の必要性～幼稚園教師と交流して～

1年担任の悩みを解決するためには

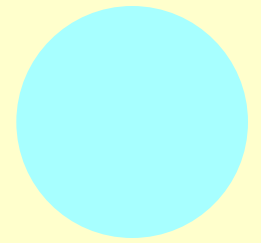
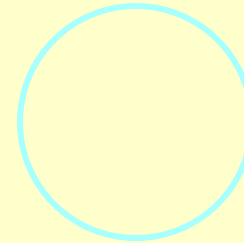
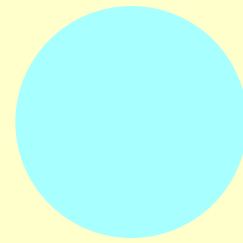
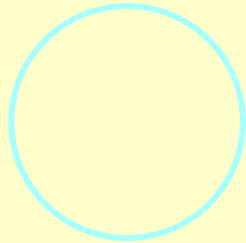
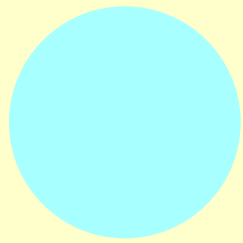
幼児との交流



教師同士の
交流

就学前教育の様子を知ること

- 幼児の実態を知る
- 幼稚園教師の子供観を知る
- 幼稚園教育の内容・指導法を知る



交流の実践

～子どもたちの育ち～

学校行事

諏訪小学校・幼稚園運動会



平成20年度 幼小合同の運動会 応援合戦を一緒に行う児童と園児
互いに幼小の存在を知り、かかわりのきっかけとなる行事

1年生 あさがおのたねをあげよう(生活)

幼稚園にて



アサガオの種をわたり、満足感・充実感を味わった1年生
アサガオの種をもらい1年生に期待をふくらませる園児たち

アサガオの種のお礼を言い
1年生の教室に行きました。さくら組と1年1組
そして、お願いをしました。「今度、ポニョのダンス一緒に踊ってください。」



さくらさんからのブーメランのプレゼントに、大喜びの1年生。

アサガオの種のお礼に1年2組の教室に ことり組の子どもたちが行きました



「こんにちは このあいだは ありがとうございます。」

1年生と一緒にポニョのダンスを踊ろう



願いが園児はかなって大喜び

1年生も にこにこ踊ってくれました

新聞紙で遊ぼう 1年(図工)

ひみつの隠れ家

1年2組とことり組



今 ガムテープ切ってあげるね 待ってね

新聞紙で遊ぼう 1年(図工)

ひみつの隠れ家

1年1組とさくら組



わー だんだん できてきたね

これ もっててね ここはキッチンにしよう

自然な交流 休み時間に幼稚園にいこう



幼稚園のベランダで折り紙の折り方を教えてくれている1年生

業間休み 昼休みに遊びに来てください

1年生と球根植え チューリップとムスカリを植えました。



1年生と用地園児が、真剣に先生の説明を聞いています。



落とさないように、しっかり持ってね

2年生が、サツマイモの植え方を教えてくれました 2年(生活)



2年生が サツマイモの苗の植え方を教えてくれました。



苗は やさしく持ってね

収穫したサツマイモでおだんご

暑い夏 収穫をゆめみて 一生懸命草取りをしました



どうやって 作ったの 教えて

おいしいね すごくあまくて ほっぺが
おちそう

2年生 ちびっこフェスティバル(生活)



ちびっこフェスティバルにきてください。



ここにならんでください。



たくさんたおしてね。



どきどきするね。(園児の出し物)

図書委員会 読み聞かせ(委員会活動) 幼稚園プレイルーム



園児にじっと見られて緊張しながら絵本を読む図書委員

運動集会 外へGOGOタイム (たてわりグループ)



どっちの列が長いかな。



じゃんけんぽん がんばってね。

幼稚園・小学校 教師の交流



七夕集会で見た幼稚園の七夕飾りの切り方を幼稚園教諭から教えてもらう



幼稚園の七夕の
願い事



たてわり給食に幼稚園の先生も参加

幼小連携・交流の成果

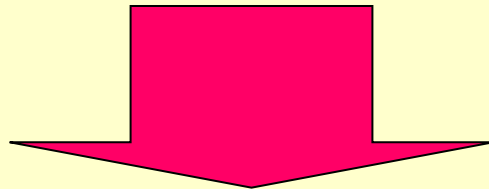
1. 教師間交流

- ・合同研修会を開催し、幼小連携についての必要性について共通理解を深めることができた
- ・交流年間計画を立てることにより、計画的、継続的に交流ができるようになった
- ・打ち合わせを持つことで、幼小の教師が幼児・児童の発達段階・ねらい・指導方法などを理解した上で交流活動ができるようになってきた
- ・幼稚園や小学校の授業参観を互いに意識してとることを心がけるようになった
- ・教師間の人間関係も密になり、互いに気づいたことを気軽に伝えあえるようになった

幼小連携・交流の成果

2. 幼児の交流での育ち

- ・知的な学び……………よく見て聞いてまねをする
- ・社会性の学び…………… 安心して身近な人とかかわろうとする
児童とかかわる中で「やさしさ」「思いやり」に触れ友だちと協力する・助け合うことを学ぶ
集団の中での役割・責任を果たす・リーダー性を学ぶ
- ・道徳性の学び…………… 人の話を素直に聞き入れる
ルールを守る



心豊かな子ども

幼小連携・交流の成果

3. 児童の交流での育ち 例 生活科「もうすぐ2年生」

・生活への関心・意欲・態度

- ・幼稚園児とすすんで関わろうとする。
- ・自分の学校生活についてすすんで振り返ろうとする。

・活動や体験についての思考・表現

- ・自分の伝えたいことを考えや方法を考える。
- ・自分の学校生活を振り返って表現する。

・身近な環境や自分についての気づき

- ・学校生活が楽しいことに気づく。
- ・幼稚園児に学校のことを伝えることができた自分に気づく。

幼小連携・交流の成果

4. 接続期(卒園期)をもうけて

①卒園期には小学校入学を意識した活動に計画的に取り組む

★園児が小学校の様子(学習・給食・上級生)を事前を知る

→安心して小学校に来られる。不安が減る

★協同的な学び

→「願いを持ち、目的に向かって協力して活動すること」が生活科などで生かされる

★数や言葉を取り入れた遊び

→教科学習に役立つ

■今年度の幼稚園評価で連携・接続の取り組みを評価してくれる言葉が数多くありました

幼小連携・交流の成果

4. 接続期(入学期)をもうけて

②小学校入学期に幼稚園教育を意識し、計画的に取り組む

- ★時間の弾力化→飽きずに集中して楽しく学習できる
- ★朝の歌・詩の暗唱、体全体を使った学習→自分を表現できる。
心の開放
- ★学習形態・場作りの工夫(遊びの要素を取り入れた学習・机のない学習)
→幼稚園・保育園の遊び中心の学びからスムーズに小学校の学習に入れる
- ★集団ゲーム→友だちができる
- ★保護者に教室を開く→子どもの様子が分かる。安心する
- ★自然交流・幼稚園を開く→児童・園児・教師のかかわりが深まる

これからの課題

- 「心豊かな子どもの育成」をめざして、交流による幼児・児童の成長を教師が認め、さらに意識して伸ばしていくとともに交流の教科や領域などの可能性をさぐる
- 発達のつながりを考えるためにも、幼小の園児・児童の交流を続ける中で、幼小教師の相互の理解を深める取り組みを計画的継続的に続けていく
- 地域の幼稚園・保育園への広がりを進める
- 幼小中の連携を考える

幼稚園2年間と小学校6年間、合計8年間のつながりから、さらに中学校を含めた11年間のつながりを考えた実践に取り組む（中学校への期待感を持たせる取り組み→中学校運動会への参加・クラブ活動の交流・通信簿の作成だけでなく、さらに交流を広げる）